

From Ibigawa S A B O

早朝の冷えも徐々に緩くなるのを感じられます。過ごしやすい気候に、今年の大規模連休も多くの方が外出されるのではないのでしょうか。越美山系砂防事務所では連休を前に、一般利用が多いと想定される砂防施設について、安全を確認すべく点検を行いました。

行楽シーズンに向け、施設の安全を確認

砂防設備を整備する地域は、優れた景観に恵まれている溪流が多く、水と緑が豊かなことから、レクリエーション活動等、多くの人々に利用されています。利用が増える予想される5月の連休や夏場の時期を控えた4月16日及び21日に、砂防施設の安全利用点検を、砂防ボランティアの御協力を得ながら行いました。



鷲津谷第1砂防堰堤での点検

積雪等の影響で一部の看板や樹木の倒壊等があった箇所は、順次応急処置を検討していきます。

大規模な自然災害時の支援体制を充実

4月より、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）の隊員に新たに3名の職員が任命されました。緊急災害対策派遣隊は大規模な自然災害時に際して、被害状況の把握や被災自治体の支援を行い、被災地の早期復旧のための技術的支援を行います。近年は大規模な自然災害が多く発生しており、その役割は重要性を増しています。昨年度は、広島市における土砂災害、御嶽山の噴火等に対し、当事務所からも5回・延べ11名の隊員が派遣されました。



事務所長(右から2人目)と任命された隊員

昭和40年(1965)災害 / 『奥越豪雨』⑥

【揖斐川筋】久瀬村 9月15日の真夜中に避難命令

久瀬村《現揖斐川町》では、9月14日～16日の雨量は800mmを超えた。14日朝から雨が降り（揖斐川町ではまだ降っていなかった）、15時頃強くなったという。村の記録から状況を追ってみる。

<14日>・15時頃より雨が強く降り出した。
・21時半消防団員出動、22時半警報サイレン

<15日>・0時大雨警報発令。
・3時、東津汲、小津、西津汲に避難命令、
東津汲は久瀬小学校、小津は洞泉寺
西津汲は安全な隣家（一時的）に避難

- ・自衛隊に救助要請。県警機動隊と共に応援を受ける。
- ・小津川堤防危険となるも、豪雨が峠をこす。

<16日>・7時50分 大雨警報解除。

この時久瀬村は、権現山（標高1,158m）を中心に荒れた。村在住の方によると「14日20時に役場に招集され、たたきつける雨が体に痛かった。招集の1時間後、21時にはもう自宅には戻れない状況だった」という。

久瀬村の狭い段丘面の耕地は、日雨量350mmくらいになると災害が起きるそうである。14日の雨量は434.9mm、15日は323.5mmである。耕地123カ所が被災した。

<つづく>

出典：越美山系災害史（原文）

《 》はクマタカ通信転載にあたっての補足箇所
発行：越美山系砂防工事事務所 平成10年10月

※各地の状況と救助活動

- ・（東津汲）下津汲集落中央の小谷に鉄砲水、集落が危険となる。
- ・小津川が大増水し、川沿い住家が危険となる。小津の山沿いの住家は、鉄砲水のため危険となる。
- ・揖斐川が大増水し、西津汲の川沿い住家が危険となる。

揖斐の花 町内を咲き巡る

揖斐川町の町花はハナモモです。町役場付近、谷汲、揖斐高原等に多く植栽されています。花が咲く期間が長い上、町役場付近と揖斐高原では、気候の違いにより咲く時期も異なるため、4月の咲き始めから1ヶ月弱の間、事務所周辺で色鮮やかなハナモモが観賞できます。



満開時は河畔等を彩ります

里山探検隊 隊員募集中!!

奥越豪雨災害から50年!

根尾白谷・徳山白谷の大崩れを知っていますか?

募集要領は [ココ](#) をクリック (事務所HPへ)



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。
また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp